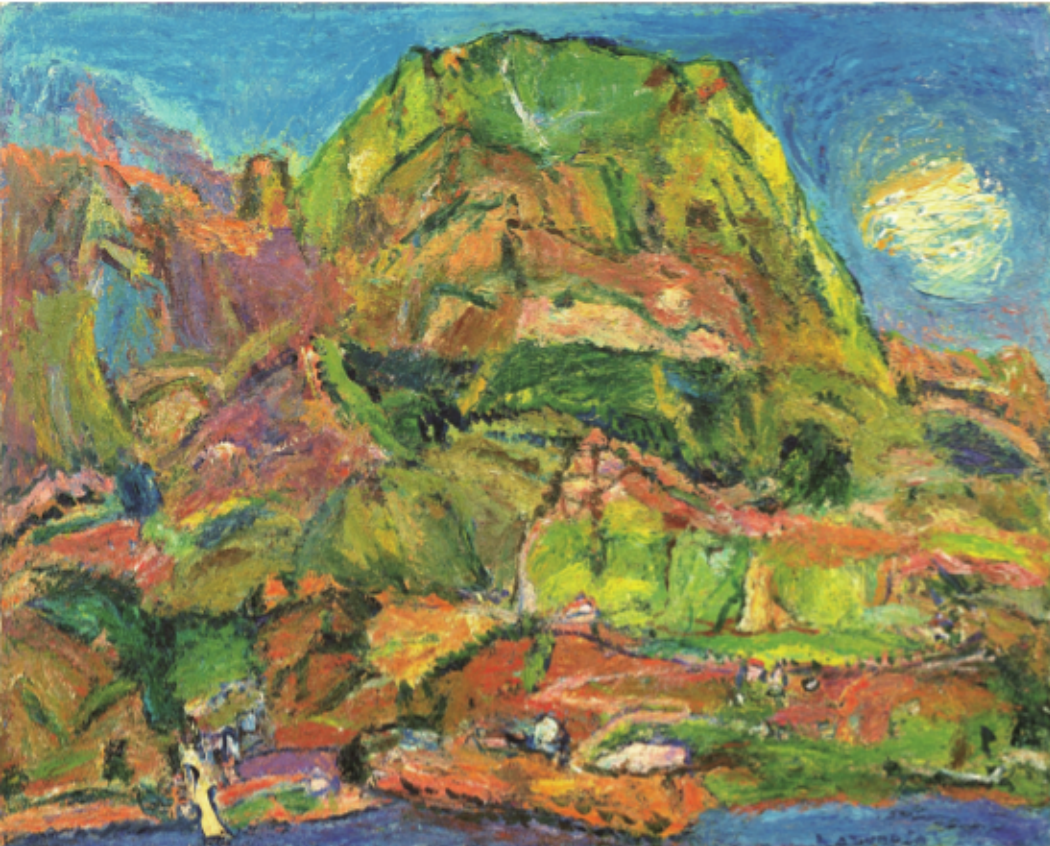


中川一政の眼

墨蹟コレクションを中心に

NAKAGAWA Kazumasa Memorial Museum of Art : 2019-20 Winter Exhibition
Aesthetic sense of NAKAGAWA Kazumasa



生涯にわたり独学で絵画や書、陶芸など様々な創作活動を行なった中川一政（1893-1991、文化勲章受章者）。彼が晩年に到達した融通無碍とも言える境地は、古今東西の芸術から学び取り、自らの表現に活かしながら切り拓いていったものです。幅広い芸術から学んだものは、技法ではなく、そこに宿る精神にはかなりません。

本展では、中川一政が自らの制作における精神の糧として集めた墨蹟コレクションを特集。兀庵普寧や大燈国師などの墨蹟を中心とした品々を、一政の絵画や書と共に紹介します。

一書を習うに書くばかりが能ではない。昔からの名蹟をいつも見ることだ。自分がいい字だなと感動するものにぶつかる。その感動は彼方にあるのではなく此方にある。

自分の中に感動する因子があるのである。自分が書に求めているものがほのぼのとみえるのである。（中略）

私は昔から坊さんの書が好きであった。うまいかまずいかわからなくても何か心をうつものがある。（中略）

坊さんの書は手筋を論ずる暇がない。いきなり人の心をうつて来るものがある。その一点一点に精神の力が宿っているのである。その力にうたれてしばらく言葉も出ない時がある。

書の技術など全く見えない。うまいまずいはどうでもよいのである。

（中川一政「書を書くこと」『随筆八十八』

1980年 講談社）

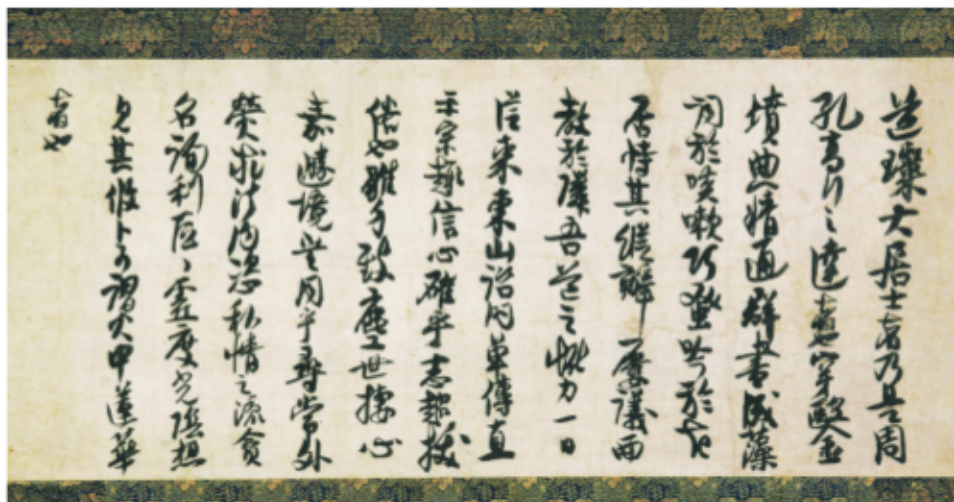
巧拙に捉われず、精神の力を込めた一筆が尊ばれる墨蹟のありようは、そのまま一政の制作に向う姿勢と重なるものでしょう。“一政の眼”をとおして、彼の作品に宿る精神に迫ります。

2019.
12. 3（火）
2020.
— 3. 1（日）

開館時間 9：00～17：00

休館日 月曜日（1/13 2/24（月・祝休日）開館、1/14 2/25（火）休館）
年末年始（12/29～1/3）

入館料 大人200円 高校生100円（20名以上の団体は半額）
中学生以下及び障がい者手帳をご提示の方とその介護者1名は無料



上：中川一政《駒ヶ岳》Mt. Komagatake 1975年、下：《大燈国師墨蹟》Calligraphy of a Zen high monk 14世紀

白山市立松任中川一政記念美術館

〒924-0888 石川県白山市旭町 61-1 電話 076-275-7532（北陸新幹線金沢駅から JR 北陸線で10分 松任駅南口横）

Closed : on Mondays. Access : 1 min. on foot from JR Matto Sta. South Exit. (10 min. on JR Hokuriku Line from JR Kanazawa Station to JR Matto Station.)